

# 学校評価アンケートの保護者コメントへの回答

## 1) 資格取得について

今年度は新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、前期の技能検定（国家検定）が中止になりました。検定の一つ「機械保全」は前期が3級、後期が2級以上という規定であるため、残念ながら今年度は受検できる生徒がいませんでした。しかし、1、2月に実施された「機械検査」「電子機器組立」には多くの生徒が受検し合格が望めるものと期待しています。「機械保全」は昨年度に数名が合格しており、今年の卒業生の多くは技能士の資格を有して社会で活躍してくれるものと確信します。さらに難関である「第一種電気工事士」の国家試験にも5名が合格、危険物取扱者**乙種全種類**（6種）と高校生では例を見ることが少ない危険物取扱者**甲種**に合格した生徒もいます。

また、電卓実務検定やビジネス文書実務検定、実用英語技能検定、漢字能力検定などにも積極的に挑戦し合格しています。資格取得は社会で仕事をするうえでも必要ですが、努力して得ることによる達成感と自信は、今後の人生の糧になるはずです。今後も本校教育活動の大きな目標として、重点的に取り組んでいきたいと思えます。

## 2) 情報発信について

学校連絡のデジタル化は全国的な流れですが、今年度から本校も積極的に取り入れています。メール配信システムを利用して、臨時休業中の健康観察アンケートや学習課題の取組状況の確認、PTA総会の出欠確認や臨時総会の資料、PTAだより、生徒指導通信、保健だより等を送信しています。行事予定や学校の様子、保護者の方々へのお願い等が内容に含まれていますので是非ご覧ください。

今年度は計画していた行事を中止または縮小せざるを得ませんでした。そのような状況でも生徒たちは主体的に生き生きと、一生懸命に取り組んでくれました。来年度はそのような様子などもHPやメールなどでお伝えできればと考えております。

## 3) 教育相談について

本校は教育相談週間を6月、11月、2月と年に3回設けています。生徒は相談を希望する先生にアポイントメントをとり、日程を調整しながら相談の時間をつくります。相談内容は勉強、進路、部活動、友人関係、悩みごと、心配事、家族のことなど、何でもよいとしています。いじめや問題行動の相談など、早急に解決しなければならない内容については、関係職員で共有し組織的に対応していますが、基本的には生徒の話を支持し、寄り添いながら生徒自身で解決する力、内面的な強さや資質を伸ばすことを目的としています。

「相談は担任を除いた先生に」ということを生徒に伝えており、多数の先生達（大人）と授業以外でコミュニケーションをとることになります。それは、社会に出たときに必ず役立つことと、悩みを一人で抱え込まず、相談を持ち掛けるハードルをずっと低くすることにもつながると思えます。今後もさらに相談体制の充実を図っていきたいと思っております。